

大和川流域LETTER

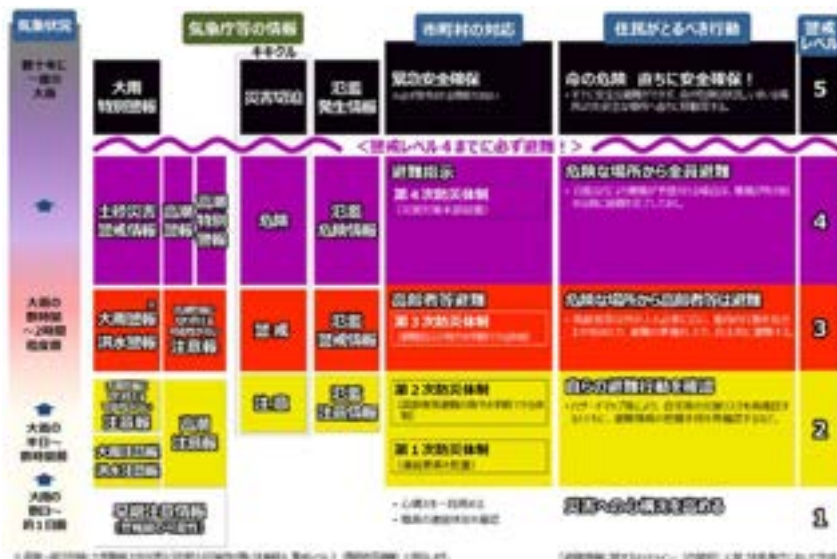
令和5年8月号

大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

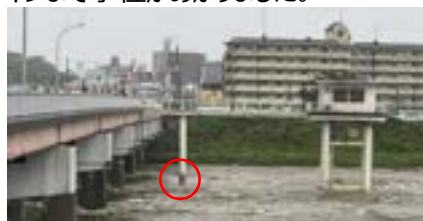


【台風前の準備できていますか】

- ・例年9月から10月にかけて台風が襲来する台風期となります。
- ・近年、気候変動の影響により、豪雨の発生頻度が増加傾向となっています。皆さんは台風が来たときにどうするか準備できていますか。いざという時のために事前に準備しておきましょう。



6月2日の豪雨では、柏原観測所の赤いラインまで水位があがりました。



- ・6月2日の豪雨では、奈良県域では**氾濫危険情報**、大阪府域では**氾濫計画情報**が発令されました。
- ・各自治体からも**高齢者等避難**や**避難指示**が発令されました。

【豪雨や洪水時の避難について】

○ご自宅がハザードマップで浸水する区域となっている場合は、避難が必要となりますが、浸水する区域となっても、浸水深よりも高い階層があれば、垂直避難できます。ただし、この場合、当面の食料のストックが必要となります。

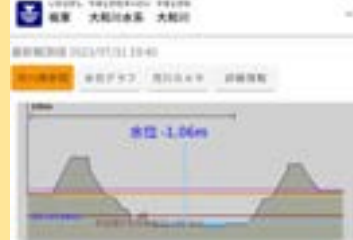
●避難を行うためには、事前に各自治体から配布されているハザードマップや地域でも作られるタイムラインなどを参考に、避難経路を確認しておくことが重要です。

○避難のタイミングは夕方までに判断し、早めの避難を心がけましょう。

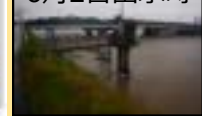
『自分と家族が逃げるだけでも、自分を含め、人を助けたことになります』

豪雨時には河川を見に行かず、大和川の水位やカメラ画像はインターネットで確認できます！

- ・川の水位情報 <https://k.river.go.jp/> では、危機管理型水位計や通常観測所の水位計の他、河川監視カメラの情報を収集・提供しています。
- ・また堤防が決壊したときの氾濫の広がりや、**浸水ナビ** <https://suiboumap.gsi.go.jp/>でも確認できます。



6月2日出水時



板東地点（平常時）



板東地点（出水時）

大和川の河川整備状況

黒字：工事完了
赤字：工事・用地取得中
緑字：今後の実施箇所

国道26号 大和川大橋下流



【維持作業】
河道掘削

三宝地区、錦西・錦綾地区】
高規格堤防

三宝地区高規格堤防事業
 ・高規格堤防盛土完了した箇所から移転を開始しています。

整備状況（令和5年3月時点）

事業延長	L=3.10km	内1.74km完了
整備率	56.1%	

堺市堺区南島

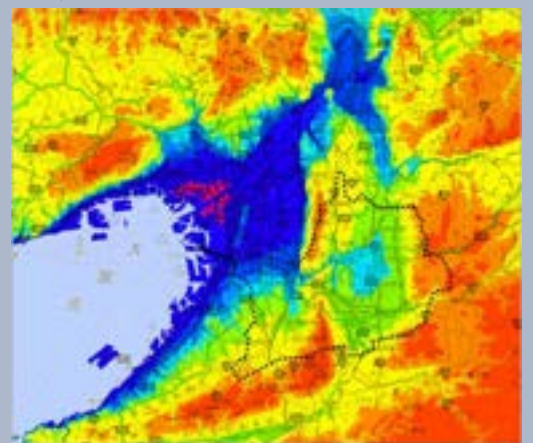


凡例 — 高規格堤防30Hライン — 阪高大和川線 — 区画整理事業範囲 — 先行移転地 — 盛土完了箇所 — 整備予定箇所

【今月のコラム】

大和川流域は山が浅く、降った雨がすぐ流れてきます。

・大和川流域の周辺の山は300m程度の山（黄色）に囲まれており、低い山に囲まれ、奈良盆地の真ん中に集中的に降雨が流れ込んできます。



土地利用の変遷

■市街地 ■水田・畑等 ■山林



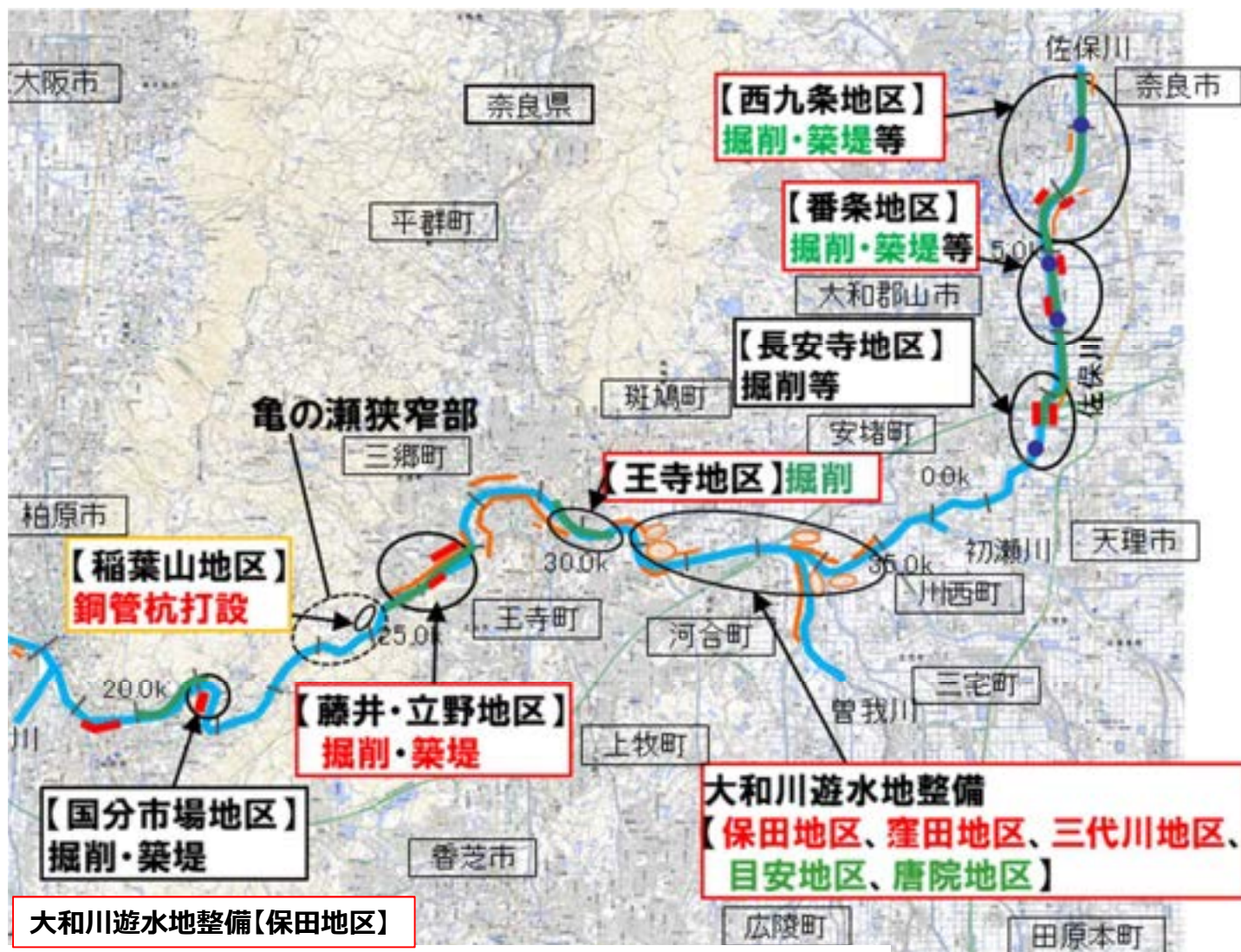
・日本の河川の流域では、山林が60%以上、都市部は10%程度が多く、山林には水を貯めることができますが、大和川では山林が40%、都市部が30%と水が貯まらない地域となっています。

・天王寺まで30分程度で移動できる三郷町や王寺町ではベッドタウン化による開発が著しく、山の中腹まで住宅地となることで、保水力が低下しています。

山の中腹まで開発

山の中腹まで開発





大和川遊水地整備【保田地区】

- ・大和川の水位低下及び遊水地周辺の内水対策となる遊水地を整備中。(R6完成予定)
- ・遊水地の掘削に着手しました。



遊水地内の掘削状況



遊水地内の掘削状況

大和川遊水地整備【窪田地区】

- ・遊水地の掘削工事を進め、工事中でも内水被害を軽減するための工事を進めています。



遊水地内の掘削状況



遊水地内の掘削状況

【藤井・立野地区】

- ・6月2日洪水でもJR軌道敷に氾濫したため、堤防整備を進めています。



堤防整備の実施



堤防整備の実施



大和川河川事務所の事業や取り組み状況をお知らせします

大和川河川事務所 わくわく広場の開催

- ・大和川河川事務所では、河川協力団体である大和川市民ネットワークとともに、毎月第3日曜日に「みんなの大和川わくわく広場」を開催しています。
- ・7月16日の第2弾として、バッタおじさんと遊ぶ草花あそび・マジックやパネル展示、手づくり遊び会などに、約20名の地域住民の方々に参加して頂きました。
- ・参加者からは、「草花あそびとても楽しかった。また参加したい。」「事務所前は良いロケーションなので一緒に何か面白いことがしたい」と感想をいただいています。
- ・継続して開催していきますので興味のある方はご参加ください。



▲親子で草花あそび



▲事務所ロビーで住民との交流



▲事務所ロビーでEボートの展示

次回は、8月13日に開催！大和川のAユ発表交流会があるよ

大和川のゴミをなんとか考えていきましょう。

- ・大和川は平成19年度までは全国ワースト1位となっていました。下水道の整備や地域の皆様の水質改善の取り組みもあり、水質が大幅に改善され、現在は環境基準を下回る水質まで回復するものの、河川へのゴミの流出が多く、大和川を多くのゴミが流れています。
- ・昨年まで、ゴミ問題について、大阪大学と共同研究を行い、ゴミがどこから流れてくるのか、どういうゴミが多いのかを分析すると、タイヤや家電製品の不法投棄よりも生活一般ゴミなどが多くを占めています。
- ・大和川河川事務所でも、ゴミが捨てられない対策など講じていきますが、地域の皆さんもゴミ拾い等地域のイベントがあれば、積極的に参加いただき、大和川のゴミを少しでも減らしていきましょう。



回収したゴミを分別し、回収量から換算すると、1日約40本のペットボトルが捨てられていることになります。

ゴミが捨てられると洪水で水位が上がった際にゴミが拡散され、草木に引っかかりたりとさらに撤去が困難になります。



6月2日洪水後の大和川

○大和川河川事務所では、7月の河川愛護月間に伴うクリーン作戦として、王寺町、八尾市でゴミ拾いを行いました。



引き続き、各自治体でも継続してゴミ拾いを行う「リレー美化活動」を一緒に開催してゴミ拾いを行います。